

よしみ 議会だより

2013
第131号
吉見町議会
2月1日発行
編集
議会だより編集委員会
比企郡吉見町下細谷411
TEL 0493(54)1511



吉見町成人式(平成25年1月13日 フレサよしみ)

12月定例議会

3月定例議会

2月28日(木)から開催される予定です。

- 議案審議結果 …P 2
- 一般質問に8人登壇 …P 3～7
- 一部事務組合報告 …P 7
- 視察研修報告 …P 8～9
- 議会日誌、編集後記 …P10

12月定例議会は、12月5日から7日までの3日間の会期で行われました。
 今定例議会は、町長から提出された補正予算など7議案の審議が行われ、すべて可決されました。
 一般質問については、8人の議員が登壇し、町政全般について活発な議論が展開されました。

議 案 審 議 結 果

町長提出議案

議案番号	件 名	審議結果
議案第71号	専決処分について(衆議院議員総選挙費)	原案可決
議案第72号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について	原案可決
議案第73号	平成24年度吉見町一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第74号	平成24年度吉見町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第75号	平成24年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第76号	平成24年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第77号	平成24年度吉見町水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決

主 な 議 案 の 内 容

■議案第73号

平成24年度一般会計補正予算(第4号)

既定の予算額に歳入歳出それぞれ5609万5千円を追加し、予算の総額を62億5077万2千円とするものです。

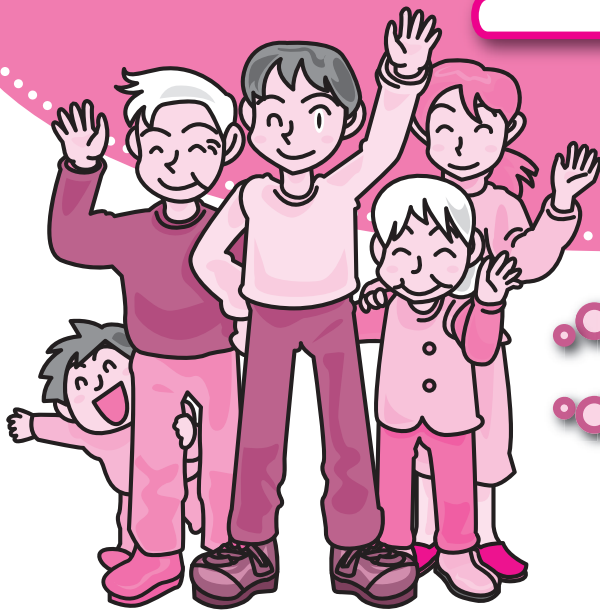
ー主な歳入としてー

◎国から障害者自立支援給付費負担金	2420万3千円
◎国から子育て支援交付金	385万9千円
◎県から障害者自立支援給付費負担金	1210万1千円
◎県から重度心身障害者医療費補助金	473万7千円
◎県から高齢者と地域のつながり再生事業費補助金	200万円
◎県から新規就農総合支援事業費補助金	225万円
◎県から個人県民税徴収取扱費	228万8千円
◎線下補償料	232万9千円

ー主な歳出としてー

◎町制施行40周年記念	プレミアム地域通貨事業費負担金	340万円
◎交通安全施設設置工事費	149万2千円	
◎障害者自立支援給付費等	6252万7千円	
◎サロン整備補助金	200万円	
◎子ども医療費給付金	600万円	
◎予防接種委託料	592万円	
◎新規就農者青年就農給付金	225万円	
◎舗装修繕工事等	788万円	
◎生徒選手派遣費	170万7千円	
◎財政調整基金積立金	△3030万1千円	

町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

歩行者・自転車等の 安全対策の実施を

» 荻野 勇 議員

問 久保田役場前の交差点は歩行者・自転車等の信号待ち時の待機場所がなく危険である。県にどのような改善策を要望していくのか。

答 県にガソリンスタンドの裏の川に蓋かけをし、待機場所を作れないか、また交差点周辺の道路や舗装の補修等、安全対策を要望してまいります。



問 放射線道路、要人堀に歩行者及び自転車等の専用橋の設置はできないか。

答 要人堀の橋の上流に堰がある事から、専用橋を架けることについては、堰の開閉等の管理をしている地元関係者と協議し、調整を進めてまいります。

問 人・農地プランの策定で大事なことは、将来の農業に対して、しっかりとしたビジョンを持って取り組む必要がある。町はどのように考えているのか。

答 人・農地プランは5年後、10年後の地域農業の設計図であり、地域の担い手対策、農地の集積、今後の地域農業の在り方や多種多様な農家の育成等地域のめざす姿を作ることが必要だと考えています。

問 農地集積図を作成していくとのことだが、個人ごとの集積図を作成するのか。

答 地域の中心となる経営体ごとに現状の農地利用が、分かるように色分けして図示化し、地域での話し合いの資料としてまいります。

問 町は人・農地プランの認定を行う検討会を設置するとのことだが、どのように考えているのか。

答 地域での話し合いにより原案作成後、その妥当性を審査・検討することとなりますので、詳細については検討してまいります。メンバーは10名程度で設置の時期は今年度末を目標に考えています。

“ゴミを資源に” 小型家電リサイクルの導入

» 公明党 秋山 真美 議員

問 現在、小型家電は町民からゴミとして『有料』で回収しています。平成24年8月「小型家電リサイクル法」が成立。不用小型家電を自治体は『無料』で引き取り、リサイクル業者に売却し、自治体には利益が見込めます。導入については。

答 ゴミの資源化・減量化につながるものと考えており、実態を把握し取組んでいく。



問 「子ども子育て3法」の成立を受けて、①地方版子ども子育て会議の設置 ②事業計画策定 ③準備組織設置の3点について。

答 ①市町村での設置は努力義務となっているが、骨格となる国の指針が示され次第、平成25年度早急に設置する ②ニーズ調査を行い、策定する ③組織の設置はしないが、現在、次世代育成支援行動計画のもと10課に及ぶ事業を行っており、今後も横断的な取組みに努める。

問 老人福祉法改正で、市民後見人の育成と活用の推進が、市町村の努力義務となっています。当町での取組みについては。

答 高齢者等の増加により、今後ニーズが高まると予想される。現状調査を行い、第6期老人保健福祉計画及び介護保険事業計画に盛り込む等、検討していく。

問 LED化の現状と課題、リース方式での導入、青色防犯灯の設置について。

答 LED化は、多くのメリットがあると認識しており、コスト面や技術面の改善等情報収集し、リース方式は、買取りとの比較検討していく。青色防犯灯は、実証研究成果の状況等、行政区と協議する。

町制施行40周年後の現状の 課題について

» 尾崎 豊 議員

問 計画的な企業誘致は必要だと考えます。近年の吉見町での企業の状況は。

答 西吉見南部地区の工業団地の整備に合わせて企業誘致を進めていき、更に町の活性化を図っていきます。



西吉見南部造成工事

問 現状でも増え続ける耕作放棄地の活用について。

答 耕作放棄地は全国的な問題です。町内では西部の丘陵地に集中しています。一刻も早く、解消及び新

たな活用方法について調査研究していきます。

問 人口減少の中で世帯数が増加しています。計画的な住宅の供給も必要と考えますが町の取組みは。

答 先進事例などを調査しながら、人口減少の抑制につながる施策を研究していきます。

問 人口減少社会における町の将来展望の中で、来年度の小学生の入学状況は。

答 少子高齢化が進行しています。来年度の入学予定者は126名であり、その後も減少傾向にあります。

問 フレサの活用は町の活性化の重要な取組みです。フレサの活用状況と設備の更新について。

答 今後とも、身近で使いやすい芸術・文化活動の拠点施設として、管理運営していきたいと考えています。今後利用者の備品使用頻度、利用状況等を確認しながら必要な備品の整備管理をし、より利用しやすい施設となるよう考えていきます。

問 図書館の活用について、現状での購入状況は。

答 利用者の幅広い年齢層に届けられるよう、一般書、児童書、また、視聴覚資料につき購入しています。今後も、利用者のニーズに合った必要とする図書の購入に努めていきます。

町内私立幼稚園と園児保護者に町として支援を

» 日本共産党 杉田 しのぶ 議員

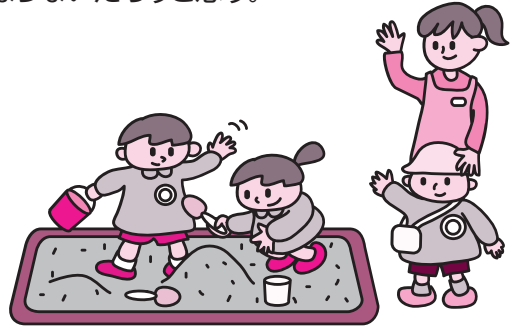
問 県内の自治体で公立幼稚園がない所で、自治体独自の補助金が何もない所は吉見町だけである。現状ではますます少子化は進行し、近い将来、よしみ幼稚園の運営も危ぶまれるような事態になるのではないかという懸念もあるが、こういう立場で町として支援の検討をしたことはあるのか。

答 よしみ幼稚園の運営に対する補助金は国・県から出ている。町としては、就園奨励費補助金を通して私立幼稚園の健全運営に資してきたと考える。

問 私立幼稚園就園奨励費補助金は、国の事業であり、町独自のものではない。数年前まで町独自の補助としてあった対象外家庭に対する補助金もなくなってしまった。町内唯一の幼稚園への支援と通わせている保護者によしみ幼稚園への就園を奨励するという立場で今後対応を求めたい。

答 以前に補助があって途中で打ち切られたという

ことは何らかの事情があつてのことだと思うが、これについては調べてみる。よしみ幼稚園からは運営が大変という相談はないが、子どもも少なくなっているので運営が大変だということになれば、考えていかななくてはならないだろうと思う。



問 町が雇用する非正規職員は全職員の内約35%である。公共サービス提供の重要な担い手である非正規公務員の待遇を改善し、雇用を安定させ、質の高い公共サービスを提供していくことが必要と考えるが町長の見解は。

答 町の仕事を臨時的にやっけて頂いているため重要な仕事であるが、現在の待遇は適切であり、今後も従前の通り社会情勢の変化に応じて対応していく。

命を守る施策

» 公明党 安孫子 和子 議員

問 胃がん撲滅のためピロリ菌検査の導入について。胃がんは毎年11万人が発生し、年間5万人が死亡しています。がんは生活習慣病とよく言われますが、がんを引き起こす、もう一つの大きな原因は感染症で、C型肝炎やB型肝炎ウィルスは肝臓がんの主な原因となり、ヒトパピローマウィルスは子宮頸がんを引き起こします。胃がんもほとんどがピロリ菌に感染したことで起こります。ピロリ菌感染が長期になると胃がんになりやすい萎縮性胃炎になるのです。

ピロリ菌に感染しているかどうかは、血液検査や大腸がん検診で採取する便からも感染の有無を検査できます。バリウム検査より早期発見率が高く、体への負担も少ないピロリ菌検査を、自己負担で、特定検診、胃がん検診に導入する考えは。

答 当面は、現在の検査方法により、受診率向上を最優先に取り組んでまいりたい。

問 成人用肺炎球菌ワクチンの公費助成について。

答 当面は、一定のご負担をいただきながら、公費助成を行う方向で準備を進めたいと考えます。

問 介護の住宅改修費の受領委任払い導入について。

答 受領委任払いを導入したいと考えます。

問 学校の一般教室の扇風機増設について。

答 一学級の児童・生徒数が減少傾向にありますので、既設の扇風機の有効活用に努めてまいります。

問 学校及び公共施設のトイレの洋式化について。

答 学校については、実態等を踏まえ検討してまいりたい。公共施設については、今後、未設置の施設を対象に洋式化に取り組んでまいります。



少子高齢化に 素早い対応と助成を

» 小林 周三 議員

問 次世代育成計画の進捗管理と点検評価について。

答 年度初めに庁内10課にわたる54事業管理シートと子育て支援課で所管する特定11事業の評価を町ホームページで公表している。

問 地域における子育て支援サービスについて。

答 ファミリーサポート事業が未実施であるので、来年度実施したい。

問 仕事と子育ての両立について。

答 就学後の放課後対策については現在、放課後児童クラブと放課後子ども教室を実施しているが、更なるサービスの実施を検討していく。

問 健康長寿の取り組みについて。

答 町では、悠友館を拠点に、荒川荘、地区公民館、生涯学習センター並びに各集会所を会場に介護予防事業を実施している。その取り組みが、介護給付費、要介護者数、要介護認定率を抑えることにつながって

いると考えている。

問 介護保険料の滞納がなく、サービスを利用していない方に何らかの還元をすべきではないか。

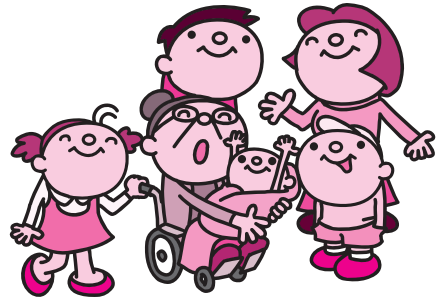
答 介護保険制度は、要介護者へのサービス給付だけでなく、それ以外の方も対象に幅広い高齢者施策を展開している。

問 うつ病の早期発見と相談体制について。

答 精神科を受診することを促すリーフレットの作成を進めている。その中には、心の相談窓口として、保健所や町の保健センターあるいは休日夜間の相談先などが記載される予定である。

問 ゲートキーパー養成について。

答 悩みを抱える人を早急的確な支援につなぐゲートキーパーの育成に向けて取り組んでまいりたい。



文化財保護と利用について

» 神田 隆 議員

問 吉見百穴、松山城跡の現在の保存方法や管理方法について。

答 吉見百穴、松山城跡は、吉見町の貴重な国指定史跡であります。現在、下草刈りや老木の撤去等の日常管理によって、貴重な史跡の環境整備を行いながら保護に努めております。

問 埋蔵文化財は、町の歴史や文化などの成り立ちを知る上での歴史的財産ですが、発掘調査や記録、保護等の調査に伴う課題について。

答 現在、町内では埋蔵文化財の包蔵地が173ヶ所あります。開発行為により埋蔵文化財が消失する場合、発掘調査を実施しております。埋蔵文化財の取り扱いについての権限は、埼玉県教育委員会に属しております。調査に伴う課題と致しましては、開発に伴う発掘調査の必要性の周知が挙げられます。今後も埋蔵文化財の保護に努めてまいります。



問 吉見百穴、松山城跡内の土地の所有者の現状と今後の土地公有化また、地目別取り扱いについて。

答 公有化については、大勢の地権者の方がおり、考え方も様々あると思います。所有者の方々の意向を把握しながら、その結果をふまえて慎重に検討してまいりたいと考えております。

問 文化財を活かした町の観光事業の取り組みについて。

答 埋蔵文化財センターでは、勾玉や埴輪づくり、古代米づくりなどの体験を通した、学びの場としての活用がされており、観光と学びの場としての活用を進めてきております。

環境整備について

≫ 日本共産党 奥村 栄昭 議員

問 町内の通学路周辺でゴミが捨てられている箇所が数多く見受けられるが、今後の対応は。

答 不法投棄が行われやすい場所では重点的に監視パトロールを実施すると共に不法投棄防止看板、ポスター等により対策をしている。



問 すでに捨てられているゴミに対しての対策は。

答 捨てられているゴミを確認した場合、極力持ち帰るようにしている。

問 各種道路標識にも老朽化した箇所が数多く見受けられるが、今後の対策は。

答 道路上に設置してある標識は内容により、町が設置したものと警察が設置したものがある。指摘された標識を確認し町設置のものであれば、総務課において対応していく。町以外の警察などが設置したものについては、連絡を取り修繕等を依頼して対応していく。

問 埼玉県では身体障害者手帳の対象にならない軽度、中度の18歳未満の子どもに対し、補聴器の購入費用の一部を補助する制度がある。吉見町でもこの制度を導入する考えは。

答 現在、この制度を実施または実施を予定している自治体は県内で21団体ある。補聴器は聴覚の弱い児童には大変有効な補装具であると考えているので、今後は導入を十分に検討していく。

一 部 事 務 組 合 報 告

埼玉中部環境保全組合議会定例会

≫ 神田 隆 議員

期日 平成24年10月18日 午前9時から

場所 埼玉中部環境センター会議室

吉見町議会から荻野勇議員、杉田しのぶ議員、内野正美議員、神田隆の4名が出席いたしました。

平成24年4月から9月までの管内ごみ処理量は可燃ごみと粗大ごみ合わせて1万9512.61トンであり、昨年同期と比較して、70.44トン0.36%の減であります。灰の処分につきましては、合計2,237.94トンをセメント原料として処理委託しております。

次に、8月24日に副管理者原口鴻巣市長から埼玉中部環境保全組合が取り組んでいる「新たな一般廃棄物処理施設整備への参画の断念」について通知があり、9月28日の正副管理者会議で協議の結果、次の3点について確認がされました。

1. 現在の中部環境センターについては、現施設が存続する限り2市1町で運営していく。
2. 新処理施設の整備については、鴻巣市が参画を断念したため、中部環境の事業として進めることができない。新処理施設の整備については、中部環境の事業としてではなく、新しい一部事務組合をつくって進める。
3. 2市1町の関係は非常に大切であるため、今後も2市1町で検討する機会を設ける。

付議された議案

- 議案第3号 平成24年度埼玉中部環境保全組合一般会計補正予算(第1号)
- 議案第4号 平成23年度埼玉中部環境保全組合一般会計決算認定について
- 議案第5号 埼玉中部環境保全組合監査委員の選任同意について
以上、上程されました3議案とも慎重審議のうえ原案のとおり可決、認定、同意されました。

北本地区衛生組合議会定例会

≫ 小林 周三 議員

期日 平成24年11月2日 午前9時から

場所 北本地区衛生組合議場

吉見町議会から岩崎勤議員、安孫子和子議員、小林周三の3名が出席いたしました。

平成24年1月から9月までの処理状況は、久喜市、吉見町が減量し、鴻巣市、北本市は増量となりました。吉見町は4,124.67キロリットル、8.78%、397.17キロリットルの減となっております。

次に平成25年度市町村負担金の試算については、組合全体で平成24年度同額の2億9千万円とのことで、吉見町の負担金額は、5450

万6千円で、本年度と比較して5.54%、319万6千円の減額になると試算されるとのことであります。

なお、1月から9月末日までの搬入量に比べ、年末は各家庭の浄化槽清掃などが行われるため、搬入量が増加することが考えられることから、負担金額及び増減率については、変動があり得ることです。

次に、今回提出された議案第8号は、歳入歳出それぞれに2519万3千円を追加し、歳入歳出予算総額を4億530万9千円とするものです。

議案第9号は、白岡町が平成24年10月1日から白岡市に市制移行したこと及び、蓮田市白岡町衛生組合が名称変更したことに伴い、埼玉県市町村総合事務組合の規約を変更するものです。いずれの議案についても原案のとおり可決されました。

議会定例会前に行われた北本地区衛生組合議会議員の勤続5年の功労表彰で、吉見町議会選出議員、岩崎勤氏が表彰されました。

視察研修報告

総務建設常任委員会

小林 周三 委員長

期 日 平成24年11月15日(木)
 視察場所 宮城県名取市
 目 的 名取市における被災概要及び復興状況について

名取市は、沿岸部の^{ゆりあげ}閑上及び下増田地区を中心として、震度6強の揺れが約3分間継続し、地震のあとに襲ってきた津波第1波が、閑上港に午後3時52分に到達し、大津波の最大浸水高は9.09mだったそうです。この大津波により平成24年10月1日現在、死者911人、行方不明者42人の953人が犠牲になられております。

復興事業費は1000億円を見込んでいるとのことであります。



震災後の平成23年5月に24人からなる名取市新たな未来会議を立ち上げ、地域懇談会を15回、また、素案に対する意見募集を行った結果、131人から提案があり、これらを踏まえ市長への提言がなされ、そのあと市議会の議決を経て、計画期間が平成23年度から平成29年度迄の7年間の震災復興計画が策定されました。

震災復興部の組織はハード事業を担当する復興まちづくり課とソフト部門の生活再建支援課の2課になります。特に、復興まちづくり課は20名の体制であり、市の職員7人、県内及び他県からの派遣職員9人、任期付き臨時職員4人で業務を行っています。また、震災復興部以外の部署にも派遣職員を全国から20人程度受け入れし、住民からの要望等に迅速に対処している状況でした。

期 日 平成24年11月16日(金)
 視察場所 宮城県仙台市
 目 的 仙台市の南蒲生浄化センター下水道処理施設の復旧状況について

南蒲生浄化センターは、仙台市の東部海岸沿いに昭和39年沈殿方式による簡易処理開始、敷地面積25.9ha、日最大汚水量39万8900m³/日、処理人口71万6192人、処理方式は標準法で仙台市の70%が処理区域となっています。仙台市は、下水道普及率99.4%であり管路延長4,578kmであります。東日本大震災での下水道関連の被害額は、南蒲生浄化センターも含めて725億円でありました。

津波の影響で処理場は水没し特高受電鉄塔の倒壊、構造物の毀損により処理機能停止、職員の安否を確認し、翌日に管理棟屋上から自衛隊ヘリで101名が救出されました。処理場は、主にポンプ棟が被災し簡易処理系が自然流化機能を有していたため沈殿放流が継続できることが確認されました。

復旧につきましては、自衛隊の協力で進入路の確保、場内の瓦礫の撤去が始まるまで1週間を要しました。直径2mの自然勾配の配水管は簡易処理槽に流入となりますので、早急に瓦礫を撤去し人力で固形塩素剤を投入し滅菌作業を行い、排水を開始しました。

新設の水処理施設が完成するまでは、約4ヶ年を要しますので段階的に処理水の向上の取組みをしています。

時が過ぎても、復旧への見通しが見えてこない未曾有の大震災に、心の痛む惨状でありました。犠牲になられた方々にお悔やみを申し上げますとともに、一日も早い復旧復興を念じます。また、吉見町でも集落排水処理施設が7地区稼働しております。東日本大震災と同等の地震があった場合には、どのような対処方法があるのか、今後の検討課題としてまいります。

結びに、本委員会の視察にあたり、御多用の中にも関わらず、多くの資料と丁寧な御説明をいただくとともに、現地まで御案内をいただきました。名取市並びに仙台市下水道課の関係各位に、心から感謝を申し上げます。総務建設常任委員会視察研修報告とさせていただきます。



被災した処理施設

視察研修報告

教育福祉常任委員会

安孫子和子 委員長

身近な芸術・文化活動の拠点施設に

視察日 平成24年11月15日(木)

視察先 福島県田村市文化センター

目的 田村市文化センターの自主事業運営の取り組み状況について

田村市文化センターは、今年度20年目を迎えています。総事業費は26億4千万円、建物構造は鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地下1階、地上4階でホールの座席数は800席です。施設の利用状況は、市文化協会加入団体及び市内の幼稚園、保育園、小中学校、高校の利用が年間を通しての安定した利用があるため、施設の規模からすると十分な利用状況とのことでした。自主事業



については、文化センター運営委員会から推薦する催し物1本と事務方（文化センター側）から推薦する催し1本の2本を基準とし、年度途中でも文化団体等からの推薦があり、事業内容が合致すれば、自主文化事業として取り入れていますとのことでした。自主事業の観客動員の状況につきましては、田村市は山間部で年齢層も高い方が多いため、演歌関係の事業では、ほぼ満員となりますが、オーケストラ等の音楽関係は少なく、若い世代をどう引き付けるかが課題とのことでした。吉見町においても町民会館は、身近な芸術・文化活動の拠点施設であり、町民同志のふれあいの場、芸術文化に通じる人づくりの場として、さらに多くの皆様にご利用いただける施設となるよう、事業を展開する必要性を感じた視察でありました。

危機感を持った要援護者支援体制を

視察日 平成24年11月16日(金)

視察先 宮城県丸森町

目的 丸森町における要援護者の支援体制及び災害時の避難所・福祉避難所の開設と運営について

丸森町は、昨年の東日本大震災時には避難所14ヶ所を設置し、原発事故による集団での避難所として2ヶ所、要援護者（妊婦、病弱者、子どものいる世帯等）を考慮した避難所を3ヶ所開設しました。

町民の避難につきましては、昭和53年6月12日の宮城県沖地震以後、災害の教訓として毎年防災訓練を実施し、また、昭和61年8月5日の大雨により町内全域で大被害を受けた経験から、避難対応には注意していたことにより、今回の震災においても迅速な対応ができたそうです。特に自主防災組織がある地区は、いち早く避難所の運営や全世帯の安否確認を行うことができたとのことでした。

要援護者の支援体制は、関係機関共有方式と同意方式を組合せて採用しており、さらに、登録するのに必要な災害時要援護者カードを記載する際、記載した個人情報に関係機関に提供することについて承諾を得ているそうです。また、災害時要援護者名簿に登録されていないけれど、支援が必要な状況にある人もおり、普段からの情報を基に支援体制をとっていますとのことでした。今回視察研修しました宮城県丸森町は、大水害や大震災を実際に体験していることで、町民全体が災害に対する危機感を強く抱いていると感じました。吉見町でも要援護者登録や防災訓練を実施していますが、今後さらに災害に対する危機感を持った取り組みが必要であると感じました。

結びに、本委員会の視察にあたり、御多用の中にも関わらず、多くの資料と丁寧な御説明をいただきました。田村市並びに丸森町の関係各位に心から感謝を申し上げ、教育福祉常任委員会視察研修報告とさせていただきます。



議 会 日 誌

月 日	件 名
2012.9.4	第34回吉見老連ゲートボール大会
15	平成24年度吉見中学校体育祭
17	第62回吉見町敬老会
24	埼玉県議会主催「議員政策研修会」 【講師:志方 俊之氏(帝京大学法学部教授) 演題:「激動する国際情勢と危機管理」】
27	議会だより編集委員会
29	平成24年度町内各小学校運動会
30	よしみ幼稚園運動会
30	吉見町商工会会員研修会 【講師:ホテル小暮若女将 小暮 美奈子氏 演題:「温泉と旅館とは」】
10.6	第31回東松山警察署管内少年剣道大会
7	第56回吉見町民体育祭
9	議会だより編集委員会
12	平成24年度町村議会議員研修 【演題:「大震災と原発事故から一年半―被災地・福島は今」 講師:早川 正也氏(福島民報社編集局報道部)】
13	よしみけやき保育所運動会
15	議会だより編集委員会
16	平成24年度要望活動
17	平成24年度第29回自衛消防総合訓練大会
18	第18回東松山警察署管内地域安全大会並びに 東松山地区暴力排除推進大会

月 日	件 名
10.20	第12回よしみコスモスまつり開会式
21	埼玉県消防協会比企支部消防操法大会
22	大里比企広域農道整備事業推進協議会平成24 年度先進地視察【視察地:長野県南佐久郡川上村 「県営農道整備事業 川上地区」】
25~26	平成24年度農業委員会県外研修
30	宮城県巨理町議会教育福祉常任委員会視察研修受入
11.3	川島町町制施行40周年記念式典
3	第41回吉見町文化祭 【展示の部:書道・美術・写真等 舞台発表:舞踊・太鼓・お琴等】
3	吉見町商工祭
3	第27回吉見音頭(踊)発表会
4~5	平成24年度吉見町区長会研修
7	小川消防署開所式
8	埼玉県西部地区グラウンドゴルフ大会
10	吉見町町制施行40周年記念式典
11	オカリナ演奏会
14	第56回町村議会議長全国大会
15	総務建設常任委員会研修視察【研修先:宮城県名取市役所】
16	教育福祉常任委員会研修視察【研修先:宮城県丸森町役場】
18	吉見消防団消防特別点検
24	平成24年度吉見農業祭
27	議会運営委員会
12.1	第35回全国スポーツ少年団剣道交流大会 埼玉県代表選手選考会
2	4団体合同忘年会【吉見町の自然を楽しむ会・何か やりません会・吉見町写真同好会・吉見エコクラブ】
3	年末特別警戒取締り出陣式

お詫びと訂正

議会だより前号(第130号)に
右記の誤りがありましたので、
お詫びし、訂正させていただきます。

3頁	特別会計の決算はの中の 介護保険特別会計 歳入歳出差引額
誤	7,0144万4,736円
正	7,014万4,736円

編 集 後 記

新年明けましておめでとうございます。
昨年は長びく景気の低迷、東日本大震災からの復興も先が見えない
状況が続いておりましたが、年末の政権交代を機に円安に転じ株価
も急上昇をしております。
今年の干支は巳であります。へびは金運、商売繁盛のシンボルとも云
われております。景気回復に大きな期待を持ちたいものであります。
今年も編集委員会では読みやすく、役立つ「議会だより」をお届けで
きるよう取り組んでまいります。



議会だより編集委員会

- 委員長 内 野 正 美
- 副委員長 伊与田 隆
- 委員 宮 崎 善 雄
- 委員 杉 田 しのぶ
- 委員 宮 崎 雄 一
- 委員 荻 野 勇